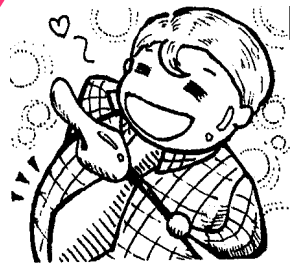


5月29日発行

編集 八幡成人



松江北高
あむーる号外
2017
5月号

北高のみなさんへ

夢は叶うんだよ！

京都大学大学院 あきばだいき 秋庭大輝

こんにちは。京都大学法科大学院既習1年目の秋庭大輝と申します。後輩の皆さんにこのような文章を書く機会を八幡先生が与えてくださり、大変光栄に思っています。

私はこの春、3年間通った広島大学法学部を退学し、京都大学法科大学院に飛び級で入学しました。これだけ聞けば人は、「なにそれ！すごい！」と言ってくれますが、順風満帆にこの結果を得たわけではなく、私は一度勝負に負け、完全に心が折れたことがあります。そんな私の実体験を踏まえて、僭越ながら後輩の皆さんに2つお伝えしたいと思います。

1つ目は、自分の信念を貫いてほしい、ということです。

私は小さい頃から弁護士に憧れ、北高では京都大学法学部を目指して勉強していました。現役の時に合格した神戸大学を蹴って、北高の補習科で浪人し、死ぬ気でさらに1年間勉強しました。合格発表の日、掲示板に自分の番号がないのを見た時には、心の底から絶望し、「勝負に負けた。人生の選択を間違えた、自分の人生はもうダメだ。」本気でそう思いました。後期日程で、進学を考えたこともなかった、広島大学に進学しました。

しかし、結果的に広島大学では、一生の友だと断言できる最高の仲間達とも出会い、その仲間達とバカなことを死ぬほどしたり、大学の制度を利用して格安でアメリカへ短期留学をして現地の法律を学んだり、キャロライン・ケネディ元駐日大使との意見交換会に参加する機会をいただいたり、予想もしていなかったような最高に充実した3年間を送ることができました。さらに、そんな生活の中で、「弁護士になりたい」という信念だけは強く持ち続け、地道に法律の勉強を続けた結果、京都大学法科大学院に飛び級合格することができました。

私が目標の大学に行くことができなくても、自分の進みたい道へ進むことができた最大の理由は、学部だけは自分の信念に基づいた希望の学部に進んだからだと思っています。大学が楽しく思えたのは、自分の興味がある学問について本気で学べる環境にあったからであり、似たような志を持った友達と一緒に頑張れたからであると思います。もし、自分の信念を曲げ、自分の学力で行くことのできる大学の違う学部に進んでいたり、法学部に進んでも大学受験の失敗を引きずり、信念を曲げた生活をしていれば、京都大学大学院の合格はなかったと断言できます。

綺麗事のように聞こえるかもしれませんが、私が実体験に基づいて本気で真実だと思っていることを皆さんにお伝えします。

後輩の皆さんに伝えたいのは、今の自分の環境がどんなに不満でも、腐らず、信念を持って努力していれば、それは必ず目標の実現に近づいているということです。模試の成績が悪くても、今の自分の環境に不満があっても、自分の信念さえしっかり持ち、虎視眈々と努力すれば、必ずその努力は自分の力になります。私のように、大学受験に失敗し（もちろん、大学受験には失敗しない方がいいです。しないでください。）、目標の大学に行くことができない人もいるかもしれませんが、それでも、自分の「これだけは譲れない」という信念を持って努力することを忘れないでください。

2つめは、高校の勉強をどう捉えるか、ということです。

私は高校時代、「こんな勉強しても今後役に立たないだろうけど、とにかく大学に受かるため！」と思いながら、大学受験のために半ば強制的に勉強していました。

まだ高校を卒業して4年しか経っていない私ですが、既にはっきりと言えます。高校の勉強はしっかりやっていたら、案外、思わぬところでものすごく役立ちます。また、しっかりやっていないと後悔することが結構あります。

分かりやすい例で言えば、公務員試験の筆記試験において、教養の部分の多くが大学受験の内容に関連したものです。また、「英語を使った仕事をしたい」などと思っていなくても、就職活動の際、どんな企業を受けるにしても、英語ができる人とできない人とは、大きな差が生まれます。私は公務員試

験の勉強をしたわけでもなく、就職活動をしたわけでもないのですが、私の周りの多くの人が、「高校の時あの勉強ももっとちゃんとやっとならばよかったわー」と言っていたり、「高校で得意だった科目だからラッキーだわ」と言っているのをよく耳にします。私自身、大手弁護士事務所に入るには英語力が求められることを（恥ずかしながら）大学に入ってから知り、もっと早く知っていたらもっと主体的に英語の勉強をやれたのでは…と後悔しました。

大学で自分が興味のあることを勉強して思ったのですが、おそらく勉強というものは、目先のこの試験のために頑張る、と頑張って勉強するのと、「自分の好きなこと、やりたいことに役立つ！自分の人生に役立つ！」と頑張って勉強するのでは、モチベーションだけでなく、定着速度や忘却速度、応用の効く幅等のあらゆる面が大きく変わってくると思います。大学受験だけのためと思ってやった勉強と、弁護士になって一生使うために法律を勉強しているのでは、勉強の過程も結果も大きく異なっていたことから、実感しました。

ですから是非皆さんにも、高校の勉強は、これからの自分の人生に役立つと思って（こじつけでもいいので、イメージしてみてください）、勉強してみてくださいと思います。そのような勉強が、大学受験においても、その後においても必ず自分の役に立ってくれます。

タラタラと書きましたが、大学受験を控えた皆さんに最後に一つだけ伝えます。

大学という場所は、本当に楽しいところです。自分の好きなことを、好きな時に、好きな人と、好きなだけ楽しむことができます。そんな生活が皆さんには待っています。その生活をどんな環境で送るかに直結する大学受験の勉強を、今はとことん頑張ってください。自分が頑張れば応えてくれる環境が、北高には整っています。勉強が辛くなっても、大学での楽しい生活を全力で想像し、頑張ってください。信念を持って続ければ、必ずその努力があなたを助けてくれます。

稚拙で冗長（そして偉そう）な文章でしたが、最後まで読んで下さり、ありがとうございました。皆さんの目標達成を心から願っています。私も、弁護士になるための努力を京都で続け、必ず目標を実現させます。一緒に頑張りましょう。♥♥♥



▲3月21日に授業を終えて、英語研究室に帰ってきたところ、入り口の所に、卒業生の秋庭大輝（あきばだいき）くんが立っていました。卒業してから会うのは初めてです。秋庭くんは、現役生のときに生徒会長を務め、卒業式の感動的な「答辞」で、八幡をはじめ数多くの先生方を号泣させた生徒です。そのことを私は当時のブログに綴っています（「チームハちゃん」2013年4月24日付け）。

彼が広島大学から京都大学の大学院に合格したことは噂に聞いて知っていました（誰から聞いたかが思い出せません。認知症？が始まっています（笑））。彼は現役のときから京都大学志望一筋で頑張っていた生徒です。残念ながら、合格できずに広島大学・法学部へ進学していました。与えられた環境の中で、精一杯頑張った甲斐があって、飛び級制度を利用して（広島大学に「飛び級制度」があったことを初めて知りました。私の担任した生徒が、一橋大学でやはり飛び級制度で1年早く卒業しています）、彼は京都大学の大学院に合格しました（広島大学の4年生をやらずに飛び越して京都大学・大学院に合格。広島大学は中退!）。「夢は叶うんだ！」目標であった弁護士への道に着々と近づいています。新しい生活と夢を語る彼の目は、生き生きと輝いていました。

彼からその後、次のようなメールが届きました。（八幡記）



さて、3月にお邪魔させていただいた際には、私のことを覚えてくださっていたこと、京都大学法科大学院合格を本気で喜んでくださったこと、また新たな目標を課してくださったこと、ブログでまたしても私のことを書いてくださったこと、何から何まで本気で嬉しかったです。

法科大学院に入学してからは、授業の予習で寝れない日も多い中、同じ課題の量でも自分より遥かに短時間でこなし、理解の深さや応用力も抜群な同級生達を見ると、自分に足りていないものを日々痛感しています。そんな同級生達に追いつき追い越すためにどうすれば良いか、頭を悩まして試行錯誤している毎日です。

そんな私ですが、これからも八幡先生の教え子として、先生を喜ばせられるような報告を何度も何度もしたいと思っています。先日、先生が喜んでくださった姿を思い出しながら、日々努力します。

終わりにになりましたが、5月には北高を（本当に）離れられるとのこと、長年のお勤め本当にご苦労様でした。私のように、先生を大切に想い続けている教え子は、全国各地に数多くいることでしょう。ですから、どうかお体にはお気をつけて、これからも元気な八幡先生でいてください。

（注）八幡は今の勤務は5月いっぱい終わりますが、6月からは非常勤の形で引き続き、北高で教えます。

夢は叶う

